

大学コンソーシアム富山 平成 30 年度「環境政策論」実施報告

事業名	大学コンソーシアム富山 平成 30 年度共同授業科目「環境政策論」
実施機関	富山国際大学
趣旨・目的	富山県で実施されている様々な環境政策と活動内容、さらに企業や団体の取組み等と紹介し、持続可能な社会を維持する活動への理解・協力を得る事を目的とする。
開催日時	平成 30 年 8 月 27 日(月)～30 日(木)の 4 日間 9:00～16:30 28 日(火)・29 日(水)午後 県内研修
開催場所	富山駅前 CiC ビル 5 階 駅前キャンパス研修室 2(富山市新富町 1-2-3)
参加人数	学生 21 名 【内訳】・富山大学 1 名 ・高岡法科大学 7 名 ・富山高等専門学校 5 名 ・富山国際大学 8 名
事業内容	<p><b>【授業概要】</b></p> <p>2015 年の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」による世界的合意事項である SDGs (Sustainable Development Goals) を踏まえ、富山県の自治体・研究所・企業等の環境政策と取組みについて学ぶ。</p> <p><b>第 1 日目：8 月 27 日(月)</b></p> <p>①はじめに／富山県の環境政策概論 (富山県生活環境文化部環境政策課 地球環境係)</p>  <p>②地球温暖化対策の現状について ～SDGs の実現に向けての取り組みを踏まえて～ (富山県生活環境文化部環境政策課 地球環境係)</p>  <p>③生活環境の保全のために (富山県生活環境文化部環境保全課 企画係)</p> 

④富山湾における豊かな海づくり  
(富山県農林水産部水産漁港課 振興係)



第2日目：8月28日(火)

⑤立山カルデラの自然と災害  
(立山カルデラ砂防博物館)



⑥水と緑の森づくりと県民との協働  
(富山県農林水産部森林政策課)



⑦⑧県内研修



富山県立イタイイタイ病資料館



とやまベレット(丸新志鷹建設(株))

第3日目：8月29日(水)

⑨ 3R・食品ロス対策の推進について

(富山県生活環境文化部環境政策課 廃棄物対策班)



⑩ 環境保全・3Rへの取り組みについて

(ハリタ金属㈱代表取締役 張田 真 氏)



⑪⑫ 県内研修



常西公園小水力発電所



西番小水力発電所



仁右エ門小水力発電所

第4日目：8月30日(木)

⑬～⑮グループワーク・発表・まとめ



大学コンソーシアム富山 平成30年度「航空機入門」実施報告

事業名	航空機入門
実施機関名	富山県立大学
趣旨・目的	航空機のしくみや開発・生産等に関する講座を開講するもの。
開催日時	平成30年8月28日(火) 10時30分～16時10分 8月29日(水) 10時30分～16時10分 8月30日(木) 10時30分～14時30分
開催場所	CiCビル 5階研修室1-a室 (富山市新富町1-2-3)
参加人数	25名 (富山県立大学1名、富山大学4名、富山高等専門学校5名、一般6名、外部講師5名、担当教員1名、職員3名)
事業内容	<p>航空機のしくみや開発、生産等、航空機の技術と製造に関わる幅広い知識を習得し、航空機製造業や航空機運送事業について理解を深める。</p>  <p>戸田客員教授による講義風景</p>

大学コンソーシアム富山 平成30年度「健康・看護・介護のロボット技術入門」実施報告

事業名	健康・看護・介護のロボット技術入門
実施機関名	富山県立大学
趣旨・目的	健康・看護・介護と工学の関係やロボット技術に関する講座を開講するもの。
開催日時	平成30年8月30日（木）9時40分～17時00分 8月31日（金）9時40分～17時00分
開催場所	CiCビル 5階研修室1-b室 （富山市新富町1-2-3）
参加人数	43名 （富山県立大学6名、富山大学1名、富山高等専門学校23名、一般2名、外部講師7名、担当教員1名、職員3名）
事業内容	<p>人に優しい看護・介護を目指したロボットや人工知能、生体計測技術に関わる幅広い知識を習得し、健康・看護・介護と工学の関係を学ぶことでロボット技術について理解を深める。</p>  <p>本吉講師による講義風景</p>

大学コンソーシアム富山 平成 30 年度単位互換開講科目  
「現代社会と法」実施報告

事業名	大学コンソーシアム富山 平成 30 年度単位互換開講科目 「現代社会と法」(医療に関する諸問題-法と医の視点から-)
実施機関名	高岡法科大学
趣旨・目的	<p>医療行為は、医療者側と患者側とで一致団結して臨むべき、いわゆる協働関係により成立するものである。これを前提に、本講義はこれまでのお任せ医療や、萎縮医療と言われるような問題について、各々がどのように関わっていくべきかを考えることを目的とする。</p> <p>「人権」、「終末期医療」を焦点とし、医療現場の現状と理想、医療過誤などを縦糸(問題)に、そして最前線での医療従事者、医療争訟に詳しい弁護士、研究者を横糸(講師)とし、一枚の綴り織り(双方向コミュニティー)を完成させるために何が必要かを考える。</p> <p>なお、本講義は大学コンソーシアム富山の事業として他大学学生及び県民にも広く聴講を呼びかけることで、地域貢献の一環としての役割も併せもちます。</p>
開催日時	平成 30 年 9 月 10 日(月)～9 月 14 日(金)
開催場所	高岡法科大学 大講義室 1 高岡市戸出石代 307-3
参加人数	<p>学生計 35 名：富山大学(1 名)・富山高等専門学校(13 名)高岡法科大学(21 名)</p> <p>その他・一般受講者 計 46 名</p> <p>合計 81 名</p>
事業内容	<p>『医療と人権』</p> <p>第 1 回 臨床研究・先端医療における被験者の保護</p> <p>第 2 回 医療行為における代諾の限界 講師：岡山大学大学院 教授 山下 登氏</p> <p>第 3 回 患者の人権を考える～臓器移植を手がかりに～ 講師：岡山商科大学 教授 宍戸 圭介氏</p>  <p>『ターミナルケア』</p> <p>第 4 回 認知症者が住み慣れた地域で最期を迎えるには 講師：光ヶ丘病院地域医療連携室 担当看護師長 林 浩靖氏</p> <p>第 5 回 終末期医療を考える－安楽死・尊厳死・緩和ケア－ 講師：富山大学 名誉教授 盛永 審一郎氏</p> <p>第 6 回 医療の立場からの終末期医療 講師：南砺市民病院 院長 清水 幸裕氏</p>



### 『患者の意思決定』

第 7 回 医療同意

第 8 回 第三者の医療同意

講師：高岡法科大学 講師 石田 瞳氏

第 9 回 事前指示からアドバンスケアプランニングへ

講師：南砺市民病院 院長 清水 幸裕氏



### 『高齢者医療と安全管理』

第 10 回 高齢者医療の現状と緩和ケア

講師：厚生連高岡病院 緩和ケア認定看護師 川上 範子氏

第 11 回 地域包括ケアと高齢者医療

講師：富山県済生会高岡病院 医療社会事業部兼医事課主幹 藤川 泰永氏

第 12 回 医療施設における医療安全対策と市民と医療者のパートナーシップ

講師：南砺市民病院 看護部副部長 吉澤 環氏



### 『医療過誤』

第 13 回 医療事故はどうしておこるのか？-なぜ医療過誤が争いになるのか-

講師：弁護士 石川 寛俊氏

第 14 回 医療過誤はどのように判断されるかー特に高齢者医療に関してー

講師：弁護士 鵜飼 万貴子氏

第 15 回 ペットと医療過誤ー人と動物と法ー

講師：京都産業大学 教授 寺沢 知子氏



- レポート指導：高岡法科大学 教授 野口 教子氏  
※ 学生のみ

大学コンソーシアム富山 平成 30 年度「とやま地域学」実施報告

事業名	大学コンソーシアム富山 平成 30 年度共同授業科目「とやま地域学」
実施機関	富山国際大学
趣旨・目的	富山の歴史・文化、富山湾、立山連峰に代表される自然環境、そしてものづくりをはじめとする産業など、データやフィールドワーク(現地研修)を通して「とやま」を知ること、そして 21 世紀の富山や世界の姿を展望する。
開催日時	平成 30 年 9 月 3 日(月)～6 日(木)の 4 日間 1 日 4 コマ×4 日間の集中講義
開催場所	富山駅前 CiC ビル 5 階 駅前キャンパス研修室 1(富山市新富町 1-2-3)
参加人数	学生 32 名 【内訳】・富山大学 11 名 ・富山県立大学 2 名 ・高岡法科大学 5 名 ・富山高等専門学校 3 名 ・富山国際大学 11 名
事業内容	<p><b>【2018 年度概要】</b></p> <p>2016 年の新幹線の開業以来、国内外からの観光客をはじめ来県者が多くなっています。一方で、少子高齢化が一段と進み、地方の活力低下が懸念されることから、2018 年から富山県の新総合計画がスタートしました。</p> <p>新しい時代に対応した一人ひとりのライフスタイルの確立が求められます。今年度のとやま地域学では、「富山の魅力と宝もの発見」をテーマに、大学生の皆さんに、富山を知り、魅力を発見してもらいたいと考え企画しました。データから知る富山、富山の歴史・文化、富山の特徴でもある森、川、海などの自然環境から、富山の暮らしを理解し、これからの活力ある富山の地域づくりについて各自が考えることを目指します。</p> <p><b>第 1 日目：9 月 3 日(月)</b></p> <p>①データから見る富山の姿 ③富山の将来を考える枠組み ④今後の富山づくり (富山地域学研究所長(元富山国際大学教授)浜松 誠二 氏)</p>   <p>②富山の政策と未来を語る (富山県知事 石井 隆一 氏)</p>  

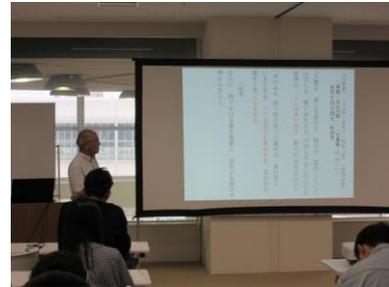
**第2日目：9月4日(火)**

⑤富山県の歴史と文化を学ぶ①

⑥富山県の歴史と文化を学ぶ②

⑦富山県の歴史と文化を学ぶ③

(前富山国際大学 現代社会学部 非常勤講師 米原寛 氏)



⑧富山の文学・文化・産業

※⑧は台風21号の影響により午後休講(9月6日に振替)

**第3日目：9月5日(水)**

⑨富山の自然—富山湾のさかな—

(富山県農林水産総合技術センター水産研究所研究員 小塚 晃 氏)



⑩富山の自然と災害—土木史からみる富山①—

⑪富山の自然と災害—土木史からみる富山②—

(土木学会土木広報センター 土木リテラシー促進グループ長 緒方 英樹 氏)



⑫富山の自然・文化的環境と世界遺産

(富山県総合政策局企画調整室 参事 松島 吉信 氏)



第4日目：9月6日(木)

⑬～⑮現地研修

立山カルデラ砂防博物館、富山市流杉浄水場、富山市郷土博物館  
(富山国際大学 現代社会学部 教授 尾畑 納子 氏)



立山カルデラ砂防博物館



富山市流杉浄水場



富山市郷土資料館

⑧富山の文学・文化・産業

(富山市郷土博物館 主幹学芸員 坂森 幹浩 氏)



大学コンソーシアム富山 平成30年度「富山とくすり」実施報告

事業名	富山とくすり
実施機関名	富山県立大学
趣旨・目的	薬の歴史や働き、製造、開発に関する講座を開講するもの。
開催日時	平成30年9月25日（火）9時40分～17時00分 9月26日（水）9時40分～17時00分
開催場所	CiCビル 5階研修室1 （富山市新富町1-2-3）
参加人数	51名 （富山県立大学21名、富山大学3名、富山高等専門学校4名、一般13名、外部講師7名、担当教員1名、職員2名）
事業内容	<p>くすりの歴史、製造、開発に関わる幅広い知識を習得し、くすりの働き（剤型、DDS、作用機序等）について理解を深める。</p>  <p>福森名誉教授による講義</p>

大学コンソーシアム富山 平成 30 年度単位互換開講科目  
「災害救援ボランティア論」実施報告

事業名	大学コンソーシアム富山 平成 30 年度単位互換開講科目 「災害救援ボランティア論」
実施機関名	富山大学
趣旨・目的	災害救援ボランティア育成のカリキュラムをコアに，富山県の災害と防災対策，富山大学の研究者による独自の研究内容などを加えて，地域防災においてリーダーシップを発揮できる人材となるための学修を提供する。
開催日時	平成 31 年 2 月 12 日（火）から 15 日（金）まで
開催場所	富山大学五福キャンパス（富山市五福 3190）
参加人数	学生 52 名 【内訳】・富山大学（34 名） ・高岡法科大学（17 名） ・富山短期大学（1 名）
事業内容	<p><b>2/12（火）</b></p> <p>第 1 回 災害救援ボランティアと危機管理医学 （富山大学大学院医学薬学研究部教授 奥寺 敬 氏）</p> <p>第 2 回 災害ボランティア活動の基本 （災害救援ボランティア推進委員会委員長 澤野 次郎 氏）</p> <p>第 3 回 富山県の防災対策 （富山県防災・危機管理課課長 松井 邦弘 氏）</p> <p>第 4 回 トレーニング 倒れている人をどう救うか （富山大学人間発達科学部教授 布村 忠弘 氏， 災害救援ボランティア推進委員会主任・社会福祉士 宮崎 賢哉 氏）</p> <p><b>2/13（水）</b></p> <p>第 5 回 被災地での安全衛生とコミュニケーション （災害救援ボランティア推進委員会主任・社会福祉士 宮崎 賢哉 氏）</p> <p>第 6 回 災害時のリーダーシップとチームビルディング （災害救援ボランティア推進委員会主任・社会福祉士 宮崎 賢哉 氏）</p>

第7・8回 富山県広域防災センター消防学校・四季防災館で講義・体験学習

(富山県広域消防防災センター四季防災館

岡本 達也 (センター長), 消防学校, 四季防災館職員 氏)

2/14 (木)

第9回 地形図から災害を予測する

(富山大学人文学部教授 大西 宏治 氏)

第10回 防災机上訓練 DIG・洪水ハザードマップの活用

(富山大学人文学部教授 大西 宏治 氏)

第11・12回 普通救命講習(心肺蘇生法, AEDの使用法, 止血法)

(富山市消防局)

2/15 (金)

第13回 自然について学び・深めて災害対策

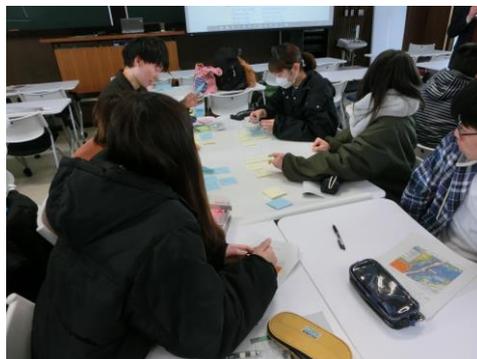
(富山大学都市デザイン学部准教授 安江 健一 氏)

第14回 大学における災害対策

(富山大学都市デザイン学部准教授 安江 健一 氏)

第15回 災害時の医療救援活動

(富山大学大学院医学薬学研究部准教授 若杉 雅浩 氏)



グループワーク



トレーニング 倒れている人をどう救うか



暴風雨体験 (四季防災館)